

平成23年度 百舌鳥・古市古墳群世界文化遺産登録推進本部会議 事業計画（案）

大阪の都市魅力を一層向上させるため、世界遺産暫定一覧表入りが決定した「百舌鳥・古市古墳群」の世界文化遺産登録の早期実現を目指し、府・堺市・羽曳野市・藤井寺市及び関係団体が一体となって、広域的な情報発信や機運の醸成を図るとともに、ユネスコへの推薦書の作成などの手続きを進めていく。

1 推進体制の整備

H23 予算額 3,483 千円

関係地方公共団体からなる推進本部会議を設置し、世界文化遺産登録に向けた方針や事業執行について協議・決定するとともに、有識者会議や民間団体等も含む協議会を設置・運営する。

(1) 推進本部会議等の設置・運営

① 推進本部会議・幹事会・部会の設置・運営

② 有識者会議の運営

考古学・古代史、景観等の専門家による有識者会議を開催し、百舌鳥・古市古墳群の世界遺産推薦書作成に向けた資産の評価、緩衝地帯のあり方等について課題を検討する。

③ 民間団体等を含む協議会の設置(H23 年内目途)・運営

協議会の設置に向け“資産活用プラン”を作成し、関係地方公共団体と民間団体等で課題を検討するとともに、連携して世界文化遺産登録の取り組みを推進する。

2 魅力創出・情報発信

H23 予算額 10,868 千円

世界文化遺産登録に向けた機運醸成を図るとともに、民間等とも連携した国内外への情報発信を展開していくための取り組みを行う。

(1) 情報発信プランの策定

ターゲットに沿って戦略的・効果的な情報発信ができるよう、関係地方公共団体や民間等の PR の指針となるプランを策定する。

(2) PR ツールの作成

H23 予算額 3,688 千円

① シンボル・ロゴデザイン等の策定

今後の情報発信やプロモーションに共通で使用していくため、シンボルとロゴデザインや WEB アプリケーションをプロポーザルで作成する。

② 多言語版リーフレットの作成

国内外への情報発信のため、日・英・仏・中・韓の5カ国語のリーフレットを作成し、関係地方公共団体や民間のイベントや国際シンポジウムで配布するとともに、プロモーションでも活用する。

(3) 各種イベント等におけるPR

関係地方公共団体における夏休みイベントや秋のイベントシーズン等において周知キャンペーンを実施する。

(4) 民間連携・観光プロモーションの検討

民間の広報媒体や観光関連団体等との連携事業について検討し、事業化を図る。

(5) 国際シンポジウムの開催

H23 予算額 7,180 千円

資産についての国際的評価を進め、登録推進運動に地元市民を含め広く国民の参画を促し理解を深めるために国際シンポジウムを1月中旬目途に開催する。なお、シンポジウムには国内の有識者を始め、国際的に世界遺産の推薦に造詣の深い各国の専門家を招聘する。

3 学術検討・条件整備

H23 予算額 18,804 千円

世界文化遺産登録の実現は、国からユネスコに提出する推薦書(案)の作成が不可欠であることから、推薦書(案)作成に必要な調査・研究を行う。

(1) ユネスコ世界遺産委員会対応 (魅力創出・情報発信共管)

H23 予算額 1,392 千円

6月にパリで開催される第36回世界遺産委員会に参加し、情報収集及び百舌鳥・古市古墳群の魅力の世界に発信するとともに、既に世界遺産に登録されている資産に関して地元関係機関等への調査を行う。

(2) 類似資産の比較検討

H23 予算額 3,789 千円

世界の類似資産と比較研究を進めることにより、百舌鳥・古市古墳群の顕著な普遍的価値を証明するとともに、主題のあり方、構成資産の選定方法、緩衝地帯のあり方などについての参考とする。

(3) 構成資産の資料作成等 (航空レーザー測量等)

H23 予算額 13,623 千円

推薦書に記載する資産の測量図、写真、映像等の作成を実施する。平成23年度は航空レーザー測量を実施し、資産の詳細な測量図を作成する。

(4) 緩衝地帯・景観条例についての検討

有識者会議における課題検討を踏まえつつ、関係地方公共団体において、都市計画やまちづくり等の関係機関も含めて、構成資産の周辺に設ける緩衝地帯のあり方や景観条例の制定について検討していく。